

廃校コンペティション

—廃校・キャンパス白倉の利活用を促進するための空間設計—

主催 キャンパス白倉利活用実行委員会

[開催概要]

開催概要

廃校・キャンパス白倉の利活用を促進するための廃校コンペティションを開催します。

新潟県十日町市に位置するキャンパス白倉は、茅葺屋根の家が立ち並ぶ小白倉集落に位置し、郷愁をもたらす景色が広がる地域のなかに建つ廃校となった小学校です。

今回のコンペティションは廃校となった小学校を活用し、「木工と建築」を主軸とした新たな地域拠点とすることを目的とします。今年度は、「建築」「木工」「写真・映像」3つの部門に分けて提案を募集します。各部門の共通したテーマは、「地域とモノづくり」とします。広くアイデアを募るため本設計競技を実施します。

(各部門のテーマ参考例)

建築：廃校となった小学校をものづくりの拠点としての施設の提案

木工：キャンパス白倉のコミュニティを形成する木工作品の提案

写真・映像：白倉集落の魅力が伝わる写真・映像

コンペ名

「廃校コンペティション ー廃校キャンパス白倉の利活用を促進するための空間設計ー」

対象地

白倉集落及び白倉キャンパス

住所

新潟県十日町市小集落

審査員

十日町市市長

大塚眞(キャンパス白倉実行委員会委員長)

阿部正義(建築家)

福崎哲也(建築家)

鈴木博(建築家)

蕪澤篤(建築家)

佐藤幸治(建築家)

中島康一郎(建築家)

佐藤雄志(建築家)

[公募内容]

応募資格

個人・グループ、年齢、職業、国籍は問いません。

規定・条件

応募点数

応募者1組につき複数案可

現地説明会

キャンパス白倉活用実行委員会事務局による説明会を行います。

日時 2017年12月2日(土)

会場 キャンパス白倉(新潟県十日町市小白倉卯62番地1)

参加費無料

参加希望の方は、事務局のメールアドレスに以下項目をご記入の上参加希望の旨をお伝えください。

- ・氏名
- ・職業
- ・メールアドレス
- ・電話番号

[敷地説明]

白倉集落について

(1) 白倉地区の地勢(地形、歴史等)

白倉地区は、新潟県十日町市最北部に位置する山間地であり、5.6 km²のエリアに2つの集落、大白倉集落と小白倉集落で構成されている。当該地区は、毎年の平均積雪深が3mを超える全国でも有数の豪雪地帯であり、古くから農業を中心とした里山文化が生まれ、奇祭と呼ばれる「大白倉バイトウ」や「小白倉もみじ引き」などの伝統行事が脈々と継承されている。また、各農家で収穫された野菜を持ち寄り、品評会や即売会を行う「白倉自慢会」の開催や、英国建築協会付属建築学校、通称ロンドンAAスクールを受け入れるなど積極的な交流事業を展開している。さらに、小白倉集落は、古くからの里山の景観を保持しており、平成8年に「美しい日本のむら景観コンテスト」で最高賞を受賞している。

(2) 白倉地区の人口

白倉地区の人口は、平成28年3月末現在で82人、世帯数は35世帯(住民基本台帳)となっており、平成19年3月末と比較すると人口は41人減少している。年齢構成では、0歳から19歳が8人、9.7%、20歳から44歳は、10人、12.2%、働き盛りである45歳から64歳が18人、22.0%、65歳以上の高齢者は46人、56.1%となっており、典型的な高齢化地区となっている。また、特質すべき点は、大白倉、小白倉集落とも9歳以下の子供がいないことである。

(3) 白倉地区の産業

白倉地区の水田耕作面積は、33.6ha(十日町市水田台帳)、そのほとんどが急傾斜地となっている。農家戸数は、34戸、そのうち1戸は、稲作となめこ栽培の複合経営を行っており、稲作農業を中心とした1次産業が重要な基幹産業となっている。また、転作田で栽培される青刈り稲によるしめ縄作りが行われている。

当該地区は、かつては錦鯉の養殖が盛んに行われてきたが、今では2戸だけとなっている。地区唯一の生活必需品販売所であったAコープが平成21年に閉店となり、白倉地区内で二次産業や三次産業を営んでいる者はいない。

(4) 白倉地区とキャンパス白倉

白倉地区は、平成6年に地区コミュニティの中心であった白倉小学校が閉校となり、地区コミュニティの醸成や世代間交流等が深刻な問題となっていた。白倉小学校が閉校となり、地域力が増々低下している中で、平成8年にロンドンAAスク

ールが白倉小学校で合宿研修を行うこととなり、白倉地区とAAスクールとの間で国際交流が始まった。これを機に、平成11年に、トイレや浴室等の小規模な整備を行い、名称をキャンパス白倉と名付けた。施設の整備は小規模であったが、AAスクールとの国際交流のみならず、豊島区の演劇学校の合宿、埼玉県の子ども自然体験合宿などが行われるようになった。キャンパス白倉は、白倉地区にとって国際交流、都市との交流を繋ぐ極めて重要な施設となっている。

4-2 地区の課題

(1)急速な少子、過疎、高齢化の進行と担い手不足

白倉地区は、AAスクールとの国際交流、合宿研修者との都市交流、白倉 自慢会によるイベント交流、さらには古くからの伝統行事である、もみじ引きやパイトウの伝承など、積極的に地区活性化に取り組んでいる。しかし、山間地であること、豪雪地帯であること等も要因となり、急速に少子、過疎、高齢化が進行している。白倉地区全体で、平成18年から出生が無く、15歳から49歳までの女性の人口が10人、全人口の12.2%しか占めていない。さらに、高齢化率は56.1%に及んでいる。白倉地区では、集落の共同作業として行われている農道の維持管理(道普 請)や水路の維持管理(堰ざらい)、集会所や神社等の共同施設の維持管理、さらにはこれまで引き継がれてきた伝統行事さえも継続できない集落も出始めている。白倉地区は、地区主体による持続可能なまちづくりを続けることが困難な状況となっている。

キャンパス白倉について

キャンパス白倉は、昭和46年に白倉小学校として建設され、教室棟は鉄筋コンクリート3階建 720㎡、11の教室等で構成されている。体育館は木造平屋建435㎡である。平成27年度の利用実績は、AAスクールが30人、演劇学校の合宿14人、子ども自然体験合宿112人、市内の中学生の親子キャンプ59人、および白倉自慢会での利用が200人、合計415人であり白倉地区の人口の約5倍となっている。しかし、旅館業法の簡易宿泊所の許可を受けているものの、宿泊は鍵のかからない教室の床や古畳の上に「ざこ寝」状態であり、冷暖房設備がないため、夏と冬は過酷な環境での宿泊を余儀なくされている。このように、キャンパス白倉は、交流・宿泊機能に乏しく、ほとんどが空き教室の状態となっており、多目的な施設利用としているため、これといった特色を打ち出せない施設となっている。

敷地配置図

小集落及びキャンパス白倉配置図写真



0 10 30 60(m)

敷地写真



応募方法

応募要項に定める提出物を事務局宛に送付してください。

提出物

1. 応募用紙

作品名、応募者（氏名、生年月日、性別）応募者代表の連絡先（郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス）を A4 判用紙（フォーマット自由）に記載したもの。

2. 提案物

表現方法は自由として、各部門ごとに提出媒体は下記参照のこと。

建築部門： A3 (420mm×297mm) のパネル 1 枚（パネル化 不可）

木工部門 A3 (420mm×297mm) のパネル or 作品の写真

写真・映像部門 PDF データ

3. 提案物の電子データを記録したもの（CD-R 等）

※提出物は返却致しません。

尚、著作権は応募者に帰属します。提出作品の所有権については、主催者側に帰属します。

（来年度以降のパンフレット等に使用される場合がございます。）

提出先

〒187-0032 東京都小平市小川町 1-2410-1 未来工房 207
キャンパス白倉活用実行委員会 廃校コンペティション事務局係

提出期間

コンペ開始日より 2018 年 1 月 31 日（水） 17 時必着 持ち込み可

審査

提出物による書類審査

審査発表： 2018 年 2 月中旬-下旬に発表予定

作品展示

応募された作品は、全て現地にて 2 月または 3 月に AA スクールが主催するシンポジウムに合わせて展示されます。

入賞作品

1 等：各部門 最優秀作品 3 万円（1 点ずつ）

2 等：各部門 優秀作品 1 万円（2 点ずつ）

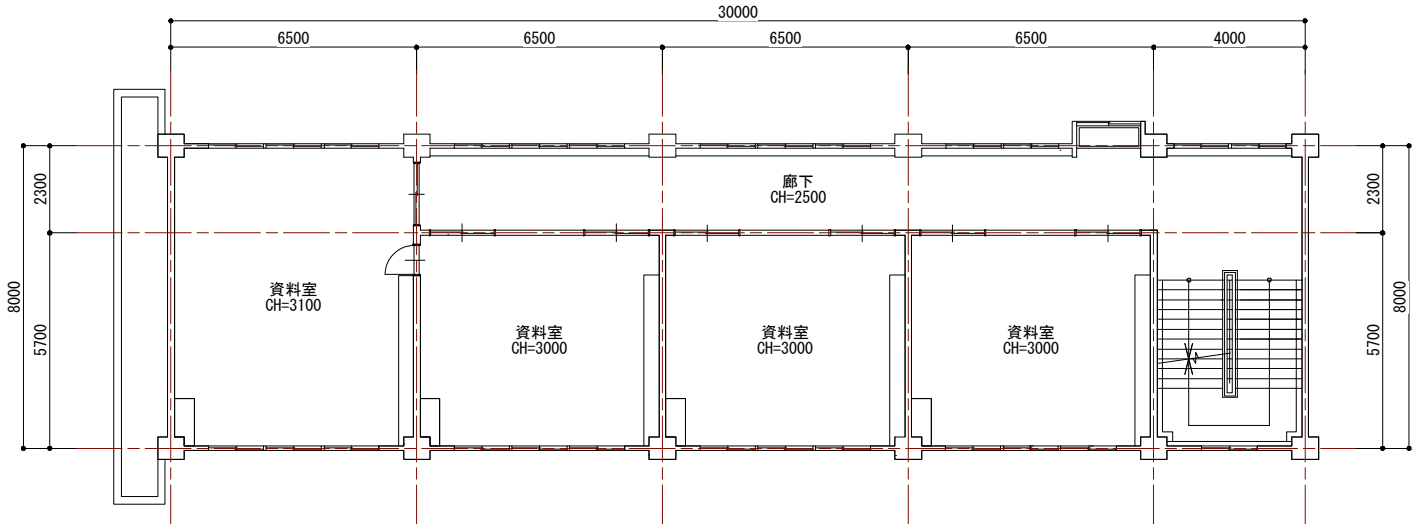
3 等：各部門 佳作（3 点ずつ）

問合せ

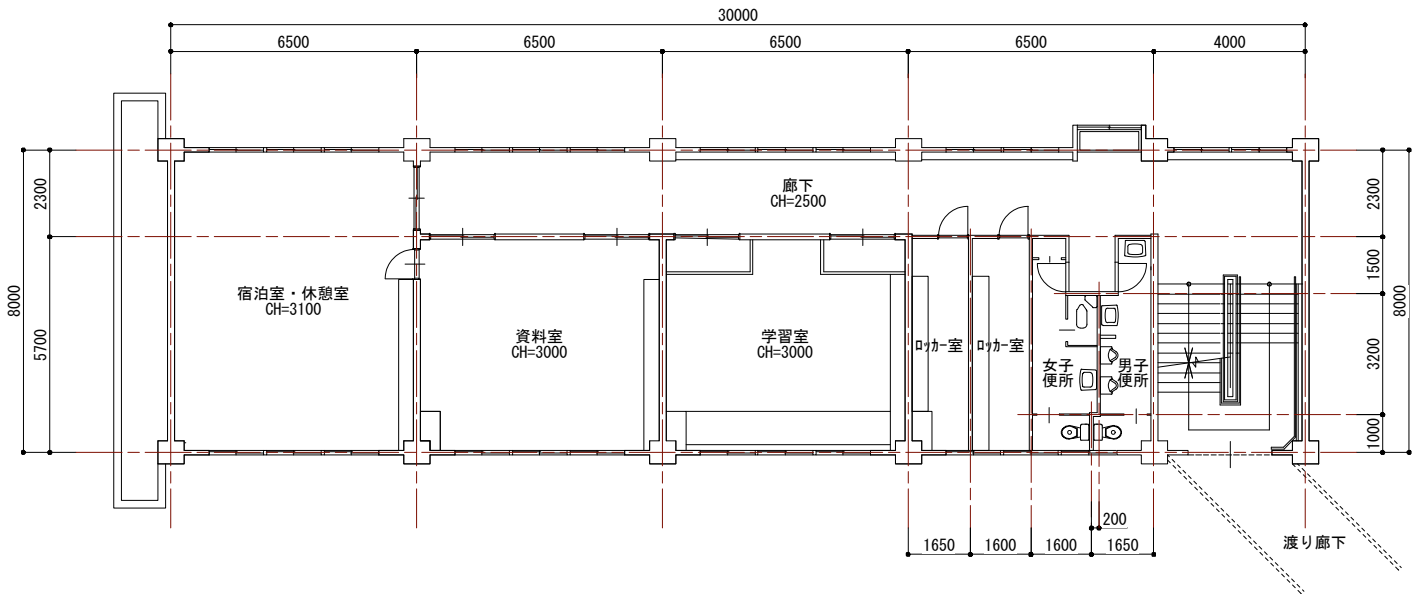
ご質問等は、Eメールにてお受け致します。

E-mail : campus.shirakura@gmail.com

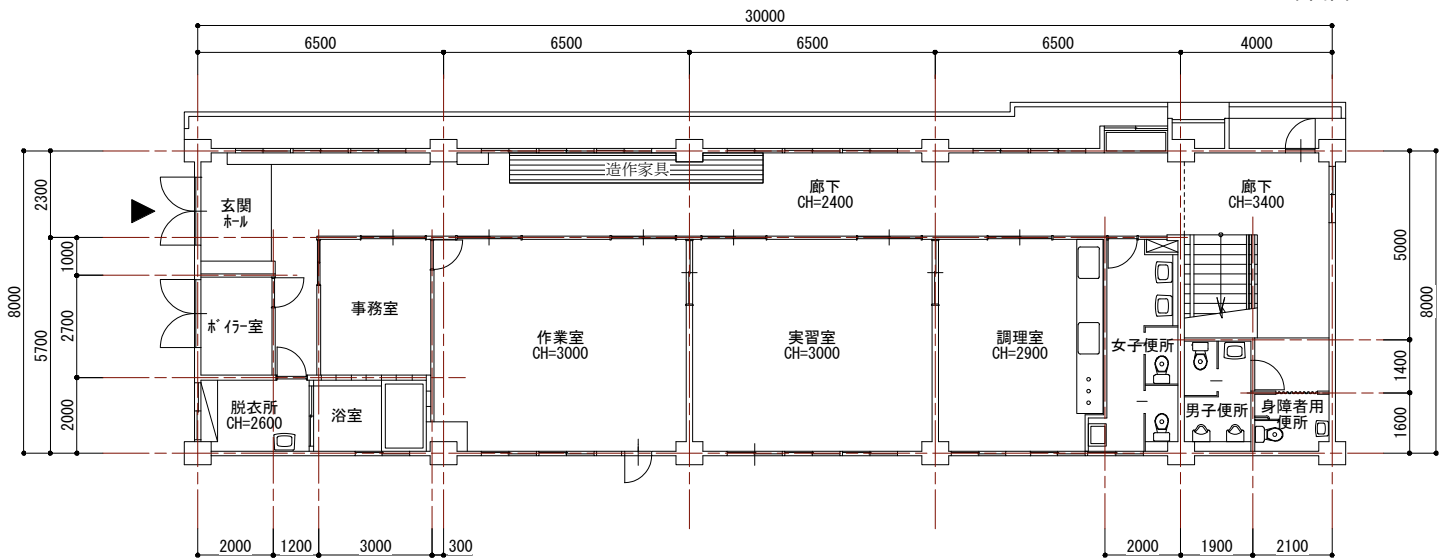
参考資料



3F平面図 S=1:200



2F平面図 S=1:200



1F平面図 S=1:200